

入院関連機能障害 (HAD) を呈した肺がん術後患者の臨床的特徴について

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

■ 研究の対象となる方

2022年9月1日～2023年8月31日に当院で肺癌に対し鏡視下肺葉切除・区域切除術治療を受けられた方

■ 目的・方法

肺がんにおける手術手技は、開胸手術から胸腔鏡下手術、ロボット支援下手術と、より低侵襲治療へと変化しております。一方で、日本全体の高齢化に伴い、肺がん手術を受ける方の平均年齢も上昇しており、術後の日常生活動作 (ADL) が低下している報告が散見されています。

元々の病気に関係なく入院中に生じる ADL が低下することを入院関連機能障害 (HAD) といい、近年注目されています。これまでに肺がん手術前後の ADL の変化に着目した報告は少なく、特に高齢な患者さんの肺がん手術前後の HAD については明らかになっていません。

本研究は、肺がん手術における HAD 発生率および 75 歳以上の患者さんの HAD の現状について明らかにすることを目的として実施します。

診療の中で得られた情報を使用し、この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

■ 実施期間

2024年7月31日～2024年12月31日

■ 研究に使用する情報

年齢、性別、BMI、糖尿病、血清アルブミン値、在院日数、術後合併症、入院前後 Barthel Index など
使用開始予定日：2024年7月31日

■ 実施期間

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] リハビリテーション部 寺島裕雅

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

■ お問い合わせ

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さんの治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

連絡先	済生会熊本病院 リハビリテーション部 寺島 裕雅（研究責任者） 住所：熊本市南区近見 5 丁目 3 番 1 号 電話：096-351-8000(代表)
------------	--

以上